

龍谷顕真会会報

もくじ

2004(平成16)年度 総会グラフ	2
2004(平成16)年度 会員活動報告	3~6
龍谷顕真会第12回海外視察報告	7~11
2004(平成16)年度 事業報告・会員動静	12



「第12回海外視察」世界遺産ミーソン遺跡にて

◆ 第十二回海外視察は、出発前より現地ベトナムでの鳥インフルエンザの発生などもあり、例年より少ない参加者数となりました。今回訪れたのはベトナム中部の中心都市・ダナン、世界遺産の街・ホイアン、そしてベトナム最大の都市である南部のホーチミンシティでしたが、ベトナムも日本と同じく南北に広がった国で、それぞれの都市で違った特色を見せていました。

◆ 本視察日程は、三日目の移動日、ダナンからホーチミンへの航空機が約五時間も遅延するなどして、以降の日程変更を余儀なくされました。が、日程調整の結果視察予定を全て消化することが出来ました。参加者の方々も各視察先では現地ガイドの説明に真剣に耳を傾け、積極的に質問をされていました。また、視察中は時事問題から宗派、当会の運営に関してなど、多岐にわたり会員同士が自由に懇談し、親睦を深められたことで、目的に適った有意義な視察となりました。

◆ 今後は、八月末のカナダ開教百周年慶讃法要参拝を兼ねた「第十三回海外視察」に向け、より一層の内容充実に向けた検討を進めてまいりますので、多数のご参加をお待ちいたしております。



藤谷光信代表世話人挨拶

2004(平成16)年度 総会グラフ



出口湛龍総務挨拶



総 会



総 会



総 会

二〇〇四（平成十六）年度会員活動報告

会員三十八名のうち十二名より「活動報告書」の提出がありました。

なお、無記入箇所は掲載いたしておりません。

- ⑤合併問題特別委員会の委員として市町村
合併（一市四町）に全力を注ぎたい
教育行政に特に力を注ぎたい

柴田 薫心	札幌市議	亀井 義昭	中川町長	萱森 真雄	横手市議
北海道・札幌・宝流寺前住職		北海道・上川北・極楽寺衆徒		東北・秋田・専光寺衆徒	
①自民党第二議員会会长	谷口 隆徳	朝日町議	大島町議	高岡・射水・称念寺住職	
②経済公営企業委員会・少子化対策委員会	芳滝 仁	北海道・上川北・常徳寺住職	花木 肇正	幕別町議	
③連合町内会顧問	北海道・十勝・顯勝寺住職	①監査委員	大島町議	②総務常任委員会委員	
④自民党札幌市連合会顧問	下水道事業の早期完了	④自民党大島町支部幹事長	高岡・射水・称念寺住職	⑤合併推進・合併後の公共施設の利用状況・	
⑤市の行政改革・第三セクターの見直し・		④自民党大島町支部幹事長		下水道事業の早期完了	
市長区の取り組み		⑤合併推進・合併後の公共施設の利用状況・			
③北見日韓親善協会会长	嶋田 政憲	勝山市議	勝山市議	勝山市議	
④自民党北見支部長代理	福井・福井・本覚寺衆徒	勝山市議	勝山市議	勝山市議	
③北見日韓親善協会会长	井上 馨	勝山市議	勝山市議	勝山市議	
④自民党北見支部長代理	福井・円陵・嚴教寺衆徒	勝山市議	勝山市議	勝山市議	

横山 善道 山県市議

岐阜・黒野・金證寺住職

大塚 泰雄 高島市議

滋賀・高島・通安寺住職

合併問題

茨木市議

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

①湖西広域連合議会議員（監査委員）

寺本 隆俊

川越町議

②産業建設常任委員会委員

寺本 隆俊

川越町議

基地対策特別委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

③高島郡仏教会幹事（事務局長）

寺本 隆俊

川越町議

④議会だより編集委員会委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑤議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑥議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑦議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑧議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑨議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑩議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑪議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑫議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑬議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑭議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑮議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑯議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑰議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑲議会運営委員会副委員長

寺本 隆俊

川越町議

⑳議会運営委員会副委員長

①合併しないことを決めた

町の行財政改革に取り組んでいく

合併問題

茨木市議

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

①湖西広域連合議会議員（監査委員）

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

②産業建設常任委員会委員

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

③高島郡仏教会幹事（事務局長）

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

④議会だより編集委員会委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑤議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑥議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑦議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑧議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑨議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑩議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑪議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑫議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑬議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑭議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑮議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑯議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑰議会運営委員会副委員長

寺本 克磨 川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

⑱議会運営委員会副委員長

①合併問題が行き詰まっている現状の中で

その前進を求めての取り組みをすすめる

笠川 紹隆	金城町議	米沢 痴達	周南市議	川越 正信	美祢市議
①総務常任委員長	山陰・福屋・淨光寺住職	②環境教育委員会副委員長	山口・熊濃・真光寺住職	②下関市議	山口・美祢西・西音寺衆徒
②総務常任委員会	社会福祉法人 寶林会理事長	③自治会連合会顧問・社会福祉協議会顧問	山口・豊浦西・心光寺住職	片山 隆昭	山口・豊浦西・心光寺住職
③社会福祉法人 寶林会理事長	④無所属	④無所属	①文教厚生・議会運営・広報特別・合併調査特別 各委員	合併調査特別委員会副委員長	合併調査特別委員会副委員長
④無所属	⑤合併問題	⑤合併問題 (いのちの教育)	②文教厚生委員会委員長	②文教厚生委員会委員長	②文教厚生委員会委員長
⑤合併問題	小原美智子	益田市議	島田 明	山口県議	山口・防府・善正寺住職
小原美智子	山陰・三隅・妙蓮寺衆徒	弘中 正俊	山口・防府・善正寺住職	山口・防府・乗円寺住職	山口・防府・乗円寺住職
山陰・三隅・妙蓮寺衆徒	防府市議	防府市議	合併調査特別委員会副委員長	合併調査特別委員会副委員長	合併調査特別委員会副委員長
防府市議	久保 玄爾	山口・防府・乗円寺住職	④無所属	④無所属	④無所属
久保 玄爾	坂出市議	井上 隆純	下関市議	⑤合併後の基本的行政のあり方、及び組織について・教育問題 (教育基本法・学校教育法改正)について	⑤合併後の基本的行政のあり方、及び組織について・教育問題 (教育基本法・学校教育法改正)について
坂出市議	大前 寛乗	山口・防府・信行寺住職	美東町議	大前 寛乗	大前 寛乗
大前 寛乗	四州・飯山北・善光寺住職	井上 隆純	下関市議	四州・飯山北・善光寺住職	四州・飯山北・善光寺住職
四州・飯山北・善光寺住職	秋里 勝道	山口・豊浦西・正音寺住職	高田町議	秋里 勝道	秋里 勝道
秋里 勝道	美東町議	高田町議	荒木 行也	美東町議	荒木 行也
美東町議	山口・美祢東・明楽寺住職	高田町議	福岡・三門南・阿弥陀寺住職	山口・美祢東・明楽寺住職	山口・美祢東・明楽寺住職
山口・美祢東・明楽寺住職	藤谷 光信	高田町議	高田町議	山口・岩国・教蓮寺住職	山口・岩国・教蓮寺住職
山口・岩国・教蓮寺住職					

谷川 通澄

柳川市議

崎田 要司

宮崎・宮崎・長明寺住職
清武町議

①大和町議会議長

②文教厚生常任委員会

③大和町社会福祉協議会役員

④自民党

⑤柳川市との対等合併が十七年三月にて新

「柳川市」で決定致しておりますので新たなる地域づくりに今後取り組みたいと思っています

※市町村合併にともない、活動報告書提出時と現役職が異なっている場合がございますが、標記役職は平成十七年三月三十日現在のものです。

二〇〇四（平成十六）年度総会において、第一ブロック・梅津正純世話人勇退に伴い、世話人補選が行われ、新たに大塚泰雄世話人が選出されました。各ブロックより選出の現役員は次の方々です。

代表世話人

藤谷 光信（山口県議）

世話人

第一ブロック（北海道・和歌山）
山田 真澄（東員町議）

第二ブロック（高島市議）
大塚 泰雄（茨木市議）

第三ブロック（金城町議）
山本 隆俊（茨木市議）

第三ブロック（山口）
大塚 泰隆（山口）

第三ブロック（美東町議）
川紹隆（金城町議）

第三ブロック（高田町議）
秋里 勝道（美東町議）

第三ブロック（佐賀市議）
荒木 行也（高田町議）

第三ブロック（佐賀市議）
木行也（高田町議）

第三ブロック（札幌市議）
柴田 肇（大島町議）

第三ブロック（佐賀市議）
花田 薫（大島町議）

第三ブロック（佐賀市議）
木田 正（大島町議）

龍谷顕真会役員



長嶺 興也

熊本・益南・善林寺住職
美里町長

傍示 暢昭

佐賀市議
佐賀市議
佐賀市議
佐賀市議

志賀 信之

豊後大野市議
大分・岡・西蓮寺住職

日 程

期 日	地 名	現地時間	交通機関	内 容	備 考
2月7日 (月)	関西空港	8:45 9:30 11:05	VN941	団員集合 《結団式》 関西空港発	
	ホーチミン ダナン	14:50 17:10 18:53		ホーチミン着(着後、国内線へ乗継) ホーチミン発 ダナン着 専用車にてホテルへ (ダナン泊)	昼：機内 夕：ホテル
2月8日 (火)	ダナン ミーソン	8:30 10:15	専用バス	ホテル発 ミーソン遺跡視察 ※2～15世紀にベトナム中南部で栄えたチャンパ王国の聖地「ミーソン遺跡」を視察	朝：ホテル 昼：レストラン
	ホイアン	14:00	専用バス	ホイアンの街視察 ※朱印船貿易の頃、海のシルクロード中継地として栄えたホイアンの街を散策 (ダナン泊)	夕：レストラン
2月9日 (水)	ダナン	11:00 13:30 15:15	VN326	ホテル発 チャム彫刻博物館視察 ハイヴァン岬視察	朝：ホテル
	ダナン	18:30		ダナン発(国内線にて空路ホーチミンへ)	昼：レストラン
	ホーチミン	19:25		ホーチミン着 専用車にてホテルへ (ホーチミン泊)	夕：ホテル
2月10日 (木)	ホーチミン ミトー	8:30 8:45 10:30	専用バス (船)	ホテル発 ホーチミン市内視察 (サイゴン大教会・中央郵便局) ミトー視察 ※メコン川下流デルタ地帯に位置するミトーの街を視察、メコン川クルーズ、ヤシ教団の寺院を訪問参拝など	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：レストラン
	ホーチミン	16:00		ホーチミン市内にてショッピング等 (ホーチミン泊)	
	ホーチミン クチ	8:30 10:00	専用バス	ホテル発 ホーチミン郊外視察 ※ベトナム戦争中、解放戦線の拠点が置かれた約250キロにも及ぶ「クチの地下トンネル」を視察	朝：ホテル 昼：レストラン
2月11日 (金)	ホーチミン	13:30	VN940	ホーチミン市内視察 (統一会堂・歴史博物館)	夕：レストラン
	クチ	23:30		夕食後、空港へ ホーチミン発(空路、帰国の途へ) (機中泊)	
2月12日 (土)	関西空港	6:04 6:50		関西空港着 《解散式》 ※終了後解散	朝：機内

○宿泊ホテル 2月7日・8日 「ザ・フラマリゾート」<ダナン>
2月9日・10日 「カラベルホテル(旧デルタカラベルホテル)」<ホーチミン>

龍谷顕真会
『第十二回海外視察』開催報告
団 視 期 察 員 先 日
二〇〇五(平成十七)年二月七日(月)～二月十二日(土)
ベトナム中南部(ダナン・ホイアン・ホーチミンシティ)
十一名

第十一回海外視察

グラフ



シクロでホイアンの街を散策



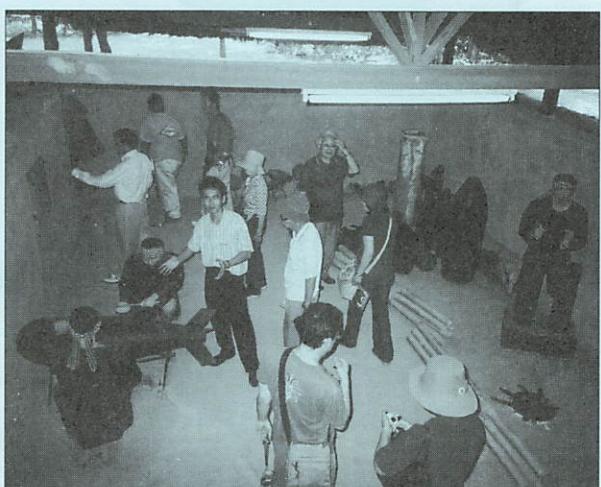
ダナン郊外に残る日本人の墓前にてお勤め



2日目夕食



ミトー・メコン川クルーズ



クチ・兵器製造所跡を見学

海外視察レポート

ベトナム紀行

山口県議会議員 藤 谷 光 信

今回の龍谷顕真会の視察旅行は、ベトナムである。期間は平成十七年二月七日～十二日の四泊六日であった。ベトナム視察については、仏教国ではあるが特に浄土真宗の教線があるところではない。しかし、最近はベトナム戦争の傷跡も漸次うすれ、社会主义国とはいえ、安定した政情にあり、世界文化遺産も多く、研修の地としては、絶好であるとの会員の意見もあり、計画された。鳥インフルエンザの報道があり、一部の会員より懸念の問い合わせもあったが、調査の結果、問題なしとして出発した。

研修地は、ホーチミン、ダナン、ホイアン、ミーソン、クチである。ホーチミンは、いわゆと知れた、旧南ベトナム時代はサイ

ゴンと呼ばれ、仏領インドシナ時代は、小パリとして、その美しい街で有名である。現在は、ハノイが首都でホーチミンはベトナム第二の都市であるが、人口は七百五十万人、街には活力があり、人々はそれなりに裕福で、家族で旧正月の準備やお祝いをする様子は、大変ほほえましく、心温まるものがあった。

国民の六十五%が仏教徒である。スズキ、ホンダ、ヤマハのバイクに二人乗り、三人乗り、四人乗りなどして、数十台、数百台のバイクが道路をうめつくしている様はこの国の着実な発展を象徴していると思つた。

ダナンの中部の都市、ホイアンは、街全体が世界文化遺産に登録され、日本や中国、

インドなどの過去の交易の名残りをとどめた美しい街である。また、ミーソンはヒンズー教の古い寺院の遺跡があり、これまた世界文化遺産である。ベトナム戦争の時、爆撃で破壊されたのが痛々しい。

クチは、ベトナム戦争時代、いわゆるベトコンがたてこもったクチトンネルがあり、現在は観光地化されているが、戦争時代の

きびしい様子がよく残されている。また、枯葉剤で死滅した森林の様子、薬の影響で後遺症に悩む子供達は、二十七万人にも及ぶと説明があった。

ベトナムは、昔から中国や、インド、フランス、アメリカなどの支配を受けた国だが、国民の多くは大乗仏教徒であり、ようやくベトナム人自らの手で国づくりが進んでいると見た。平和で信心深いこの国の人々が、豊かで安らかな日常を送られるよう願つて、帰途についた。

今回の視察については参加会員全員のご協力と、本山広報部の平井さん、JTBの森川さんのお二人には、心よりお礼を申し上げます。



思いのまま

札幌市議会議員 柴田薰心

今回の視察はスマトラ沖地震の感染症、そして鳥インフルエンザ等で参加者は少なかった。

ベトナムは蒙古襲来以来千年以上続いた戦争も終結し、社会主義国家ではあるが、仏教徒六十五%といわれ宗教的精神（祈願・祈祷）は生活の中に生きているように見えた。先進国の日本とは四、五十年の遅れで、一般家庭は白黒テレビで、暑い国なのに洗濯機・冷蔵庫はなく、有るのは交通機関がないため自転車代わりのバイクで、どこの道路も満員だ。

中国の三十年前を思い出す。中国は自転車の洪水だったが、今は車が増えている。前回のカンボジアもそうだが、ベトナムも戦争の後遺症から復活していく痛ましい姿を見せつけられた。戦争の悲惨さである。道中みんな元気で、私もマイナス五度の札幌から三十度の国へ、体の変調を心配し

たが、みんなのお陰で無事帰国した。今年のカナダ視察を楽しみにしながらペンを置く。有難う御座いました。

ベトナム社会主義共和国を訪ねて

東員町議会議員 山田眞澄



のは、一九七五年でした。故ホーチミン大統領の指導によって勝ち取られた民族独立の重さをつくづく感じました。

最初に訪ねた世界遺産のミーソン遺跡は、十世紀頃に造営されたもので、王家の都から山を越えた密林（であつたと推定される）に存在していますが、ベトナム戦争でのアメリカ軍の空爆を受け多くが失われ、破損していました。修復はレンガ造りの方法、材料が判らなく不可能とのことでした。

同じく世界遺産のホイアンの旧街区は、その指定に合わせて全日、車両の進入を止め、保存に努めています。さすがに社会主義国だと、変なところに感心しました。日本人の手で四百年前に架けられたという永遠橋も健在で、多くの人々、バイクが往来しています。

最終日に見学したクチ地区は驚きの連続でした。旧サイゴン市の北西五十キロほどの地区ですが、村民が三層の地下要塞トンネルを掘り、アメリカ軍に徹底抗戦をした地帯です。二百五十キロに及ぶトンネル、

落とし穴、兵器製造所（昔のカジノのよう

なもの）食堂、医療室などをもつ地下陣地です。勿論数万人の戦死者も出たそうです。今やかましいダイオキシンを枯葉剤としてアメリカ軍が空中散布した地でもあります。

最後にトンニアット宮殿（旧仏印総督府、

旧南ベトナム大統領官邸）を見学しました。

私たちはわずかな入場料を払って内部を見学しましたが、かつてはベトナム、ラオス、カンボジアの住民を支配し、それらの人々を搾取し続けた司令部であり、三国の恨みが込められた地であることに思いいたり、或る種の感慨を覚えました。

「憐慢」な私に

温泉津町議会議員 窪 田 享 信

未整理のまま、ベトナム滞在中、帰国後も頭に浮かぶ言葉を並べてみる。

「群萌」「圧政」「権力の座」「文化遺産」「解放」「勝敗」「貧富の差」「貪欲」「憐慢」「無慚愧」などなど……。

広い道路に、津波のように押し寄せて来

るオートバイの群れ、二人乗り、三人乗り、四人乗りすらある。無秩序かのようなオートバイの波は、時に急流となり、時に濁流。本流から支流へ、支流から本流へ、信号にもこだわらない。でも事故は殆んど無いとか。

民衆の暮しは豊かとは見えないが、それに頓着している様でも無い。「群萌」とは何かを知らされたような思いがする。バスの窓からそれらを見下ろしている私は立派にホテルに泊り、買物に走り、民衆のサービスを批評しながら楽しんでいる私に「憐慢」を感じる。

「文化遺産」は、「圧政」「権力の座」「植民地支配」が残したという一面もある。世界文化遺産は登録されているミーソン遺跡、ホイアン市街。各地の彫刻など圧政と搾取に泣いた当時の民衆を彷彿させる。石見銀山遺跡の世界遺産登録を三年後にめざす島根県・新生「大田市」にとっても忘れてはならぬ視点と感じる。

訪れた各地に「戦争」の無惨さが見られる。人民の解放のために命を賭して戦った人達があつた。現地のガイドさんの口から

「解放戦争の勝利」「アメリカに勝つ」などの言葉が時に聞こえてくる。戦争は勝った敗けたの世界である。でも「勝った敗けた」にひそんでいる怨念を感じ、そこに真の平和があるだろうかとの思いが断ち切れない。選挙もまた「選挙闘争」と呼ばれ「勝った敗けた」と言われる。「世のことみなもてそらごとたわごとまことあることなきに」のお言葉が改めて身にしみる。

合掌



ホーチミン・統一会堂（トンニアット宮殿）前にて

